

ダム等の管理に係わるフォローアップ制度について  
(事後評価の報告)

平成17年8月29日

国土交通省 中国地方整備局

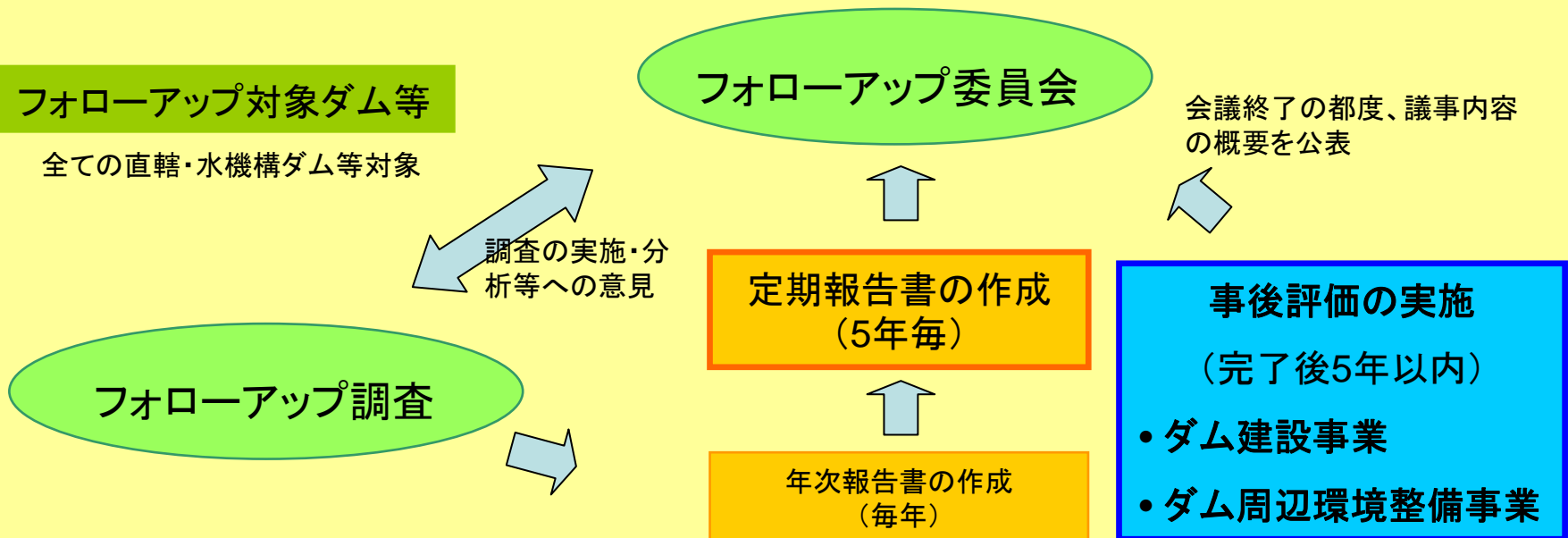
# ダム等の管理に係るフォローアップ制度の概要

フォローアップ制度は、国土交通省及び水資源機構の管理ダム等を対象に、学識経験者で構成されるフォローアップ委員会を開催し、管理段階における洪水調節実績、環境への影響等の調査結果から分析・評価を行い、当該ダム等の適切な管理に資することを目的としています。

このフォローアップ制度の実施にあたっては、年次報告書(毎年)を作成し、これを5年毎に定期報告書としてまとめ、フォローアップ委員会の審議に供しています。

また、ダム建設事業やダム周辺環境整備事業(ダム湖活用環境整備事業、ダム貯水池水質保全事業、ダム水環境改善事業)の事後評価についてはフォローアップ委員会にて審議します。

## フォローアップ制度の構成



# フォローアップ制度による事後評価の扱い

## 1 フォローアップ制度の位置づけ

【国土交通省所管公共事業の事後評価実施要領(H15.4.1) 第4 1. (6)】

「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」の対象となるダム事業において、当該制度に基づいた手続きが行われる場合については、本要領に基づく事後評価の手続きが行われたものとして位置付けるものとする。

## 2 事業評価監視委員会への報告

【河川及びダム事業の事後評価実施要領細目(H16.1.9) 第4 1. (4)】

実施要領第4 1. (6)の規定に基づき手続きを行った場合には、その結果を事業評価監視委員会に報告するものとする。

# 中国地方ダム等管理フォローアップ対象施設

《 中国地方におけるフォローアップ対象施設 : 8ダム3堰 》

菅沢ダム、土師ダム、島地川ダム、弥栄ダム、八田原ダム、温井ダム、  
苦田ダム、灰塚ダム、高瀬堰、坂根堰、芦田川河口堰



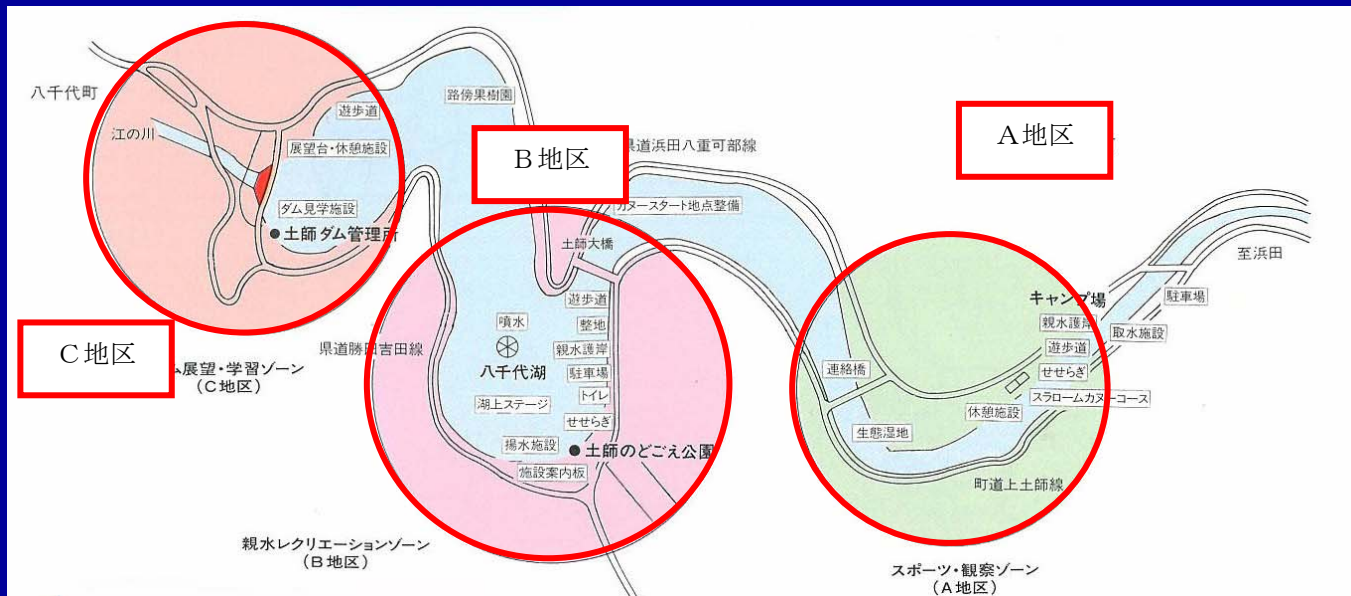
# 中国地方ダム等管理フォローアップ委員会 委員名簿

委員等	氏名	所属
委員長	名合 宏之	岡山大学 名誉教授
委員	今林 博道	広島大学大学院 生物圏科学研究科 教授
委員	小川 全夫	九州大学人間環境学研究院 人間科学部門 教授
委員	尾島 勝	福山大学工学部 建設環境工学科 教授・学科長
委員	千葉 喬三	岡山大学 学長
委員	鶴崎 展巨	鳥取大学地域学部 教授
委員	徳野 貞雄	熊本大学文学部 教授
委員	中川 平介	広島大学 名誉教授
委員	中西 弘	山口大学 名誉教授
委員	中林 光生	広島女学院大学 名誉教授
委員	檜谷 治	鳥取大学工学部 土木工学科 教授
委員	脇坂 宣尚	宇部短期大学 名誉教授
委員	渡邊 明英	広島大学大学院工学研究科 社会環境システム専攻 助教授

# 土師ダムダム湖活用環境整備事業の フォローアップ委員会審議経緯

日時	開催会議名称	審議事項
平成16年 11月25日	土師ダム現地視察会	<ul style="list-style-type: none"><li>・土師ダム概要説明</li><li>・定期報告書とりまとめ方針</li><li>・<u>土師ダムダム湖活用環境整備事業事後評価書とりまとめ方針</u></li></ul>
平成17年 3月17日	第9回委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・土師ダム定期報告書の審議</li><li>・<u>土師ダムダム湖活用環境整備事業事後評価書の審議</u></li></ul>
平成17年 3月18日	—	<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>河川局長への事後評価結果の報告</u></li></ul>

# 土師ダムダム湖活用環境整備事業の概要



整備地区		A地区	B地区	C地区
		スポーツ・観察ゾーン	親水レクリエーションゾーン	ダム展望・学習ゾーン
整備内容	国	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態湿地公園</li> <li>遊歩道</li> <li>スラロームカヌーコース</li> <li>八千代湖ふれあい大橋</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のどごえ公園</li> <li>湖上ステージ</li> <li>親水護岸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展望、休憩施設</li> <li>ダム見学施設</li> </ul>
	町	<ul style="list-style-type: none"> <li>テニスコート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レーシングカヌーコース</li> <li>レイクスタディスポーツセンター</li> <li>BMXコース</li> </ul>	



# 土師ダム施設利用状況写真



平成6年 広島アジア大会



のどごえ公園



平成8年 国民体育大会



環境学習会(生態湿地公園)



# 事後評価結果

事業主体: 国土交通省中国地方整備局

水系等名: 江の川水系江の川

事業名: 土師ダムダム湖活用環境整備事業

評価実施: 中国地方ダム等管理フォローアップ委員会

事業評価の理由		事業完了後一定期間が経過
対応方針	今後の事業評価実施の必要性	自然に配慮した「土師ダムダム湖活用環境整備事業」の実施により、土師ダム周辺に「自然豊かな、憩える空間」が出現し、安定的な利用が見られる。したがって、 <u>今後の事後評価の必要はない</u> と考えられる。
	改善措置の必要性	利用者の満足度が高く、圏域及び近隣の人々に安定的に活用されていることから、 <u>改善措置の必要性はない</u> 。
	同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	今後、ダム湖活用環境整備事業に関しては、 <u>利用実態の変化状況を把握し、活用実態を反映した評価手法について検討する必要がある</u> 。